

飛騨市名誉市民 小柴昌俊先生を偲んで 誇りや希望をありがとうございます



小柴昌俊(こしばまさとし)先生

・2002年

天体物理学とくに宇宙ニュートリノの検出にパイオニア的貢献をしたことにより、ノーベル物理学賞を受賞

・2003年 2月17日

文化、教育の充実等社会発展に寄与されたとして、神岡町名誉町民を受称。

神岡町の神岡鉱山地下で太陽系外からのニュートリノを初めて観測し、2002年にノーベル物理学賞を受賞され、飛騨市名誉市民である東京大学特別荣誉教授の小柴昌俊先生(94)が11月12日にご逝去されました。

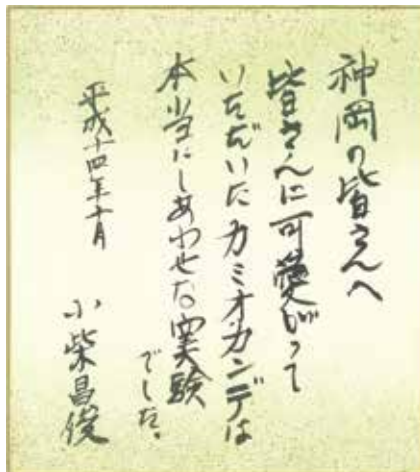
小柴先生の訃報を受け、14日に道の駅スカイドーム神岡、神岡振興事務所、飛騨市図書館に設けられた追悼記帳所では、多くの市民らが訪れ、小柴先生の偉業を偲びました。ご記帳いただきました皆様、ありがと

うございました。

小柴先生は1978年に「カミオカンデ」の建設を提案し、研究グループを率いて1983年から観測を開始。定年直前の1987年2月23日に、地球から約16万年の大マゼラン雲で起きた超新星爆発で放出されたニュートリノを観測することに成功しました。天体からのニュートリノを、その方向、時刻、エネルギー分布まで明確に検出したのは世界初で、この成果は超新星爆発の仕組みやニュートリノの謎の解明に大きく貢

献。2002年にノーベル物理学賞を受賞され「カミオカ」の名を世界中に広め、町に誇りと希望をもたらしてくださりました。

2003年2月17日に、ノーベル賞受賞と文化、教育の充実等社会発展に寄与された功績から、当時の神岡町から神岡町名誉市民の称号が贈られました。その後、「宇宙まるかじり講座」や「夢のたまご塾」などの講演会に講師として足を運んでいただき、宇宙物理学の研究を子どもからお年寄りまで幅広い世代に伝え



▲ノーベル賞受賞後、神岡町民に向けた小柴先生からのメッセージ



▲夢のたまご塾で講演される小柴先生



▲追悼記帳所には多くの市民らが訪れ、小柴先生の偉業を偲びました

ていただきました。

小柴先生が立ち上げられたカミオカンデは、現在の「スーパーカミオカンデ」に引き継がれ、弟子の東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章先生が「ニュートリノ振動」という現象を観測。2015年にノーベル物理学賞を受賞されました。さらに「ハイパーカミオカンデプロジェクト」も進行中であり、重力波望遠鏡「KAGRA」の研究も行われるなど、小柴先生が立ち上げられた飛騨市神岡における研究は、大きく大きく発展しつつあります。

また、その中で、多くの飛騨市の子どもたちが「飛騨市の自慢はスーパーカミオカンデ」と語るように、飛騨市民、神岡町民はその存在にどれほど勇気づけられたかはかり知れません。

小柴先生がこの地で宇宙物理学研究を育ててくださったことは、飛騨市民の誇りや希望となり、精神の面で支えられました。

小柴先生の残された偉大な業績に深く敬意を表し、ご生前の飛騨市、神岡との親交に深く感謝します。

安らかにお休みください。